

東北各県より2チーム計12チーム参加して行なわれたが、本県期待のオリンピックで活躍した福原広次・班目秀雄の両選手が日本を代表して国外遠征中のため参加できなくなったので、高校生を選手を主体として編成して下記の成績を取めた。

- Aチーム 第5位 43時間35分10秒0
Bチーム 第9位 44時間09分32秒4

10 その他の各種大会

以上の外本県内に各種体育行事を開催して、スポーツの振興に努めた。その主要なるもの下記のとおりである。

行 事 名	期 日	場 所
第8回福島県フォークダンス大会	5月22～23日	常磐市
第12回東北中学校水泳教室	8月7～8日	福島市
第2回全日本社会人サッカー大会東北予選会	8月16～18日	勿来市
第2回高等学校定時制通信教育体育大会	8月29日	郡山市
福島県青年体育文化交歓祭	8月28～29日	郡山市
第20回国体軟式野球東北予選会	9月12日	福島市
第14回東北6県剣道選手権大会	9月4～5日	福島市
第18回東北体操選手権大会兼国体予選会	9月10～12日	福島市
第1回北日本馬術大会兼国体予選会	9月10～12日	福島市
第17回東北自転車競走選手権大会	9月12日	会津若松市
第39回アマ・ボクシング選手権大会東北予選会	9月5～6日	福島市
第5回全日本産業人バスケットボール東北予選会	9月18～19日	福島市
第16回全国大学ラグビー大会東北予選会	11月6～8日	福島市
第2回東北総合室内ハンドボール選手権大会	11月20～21日	福島市
第16回全国高校駅伝競走大会東北予選会	12月5日	福島市

11 保原高等学校夏の甲子園野球大会出場

保原高等学校は県民待望の東北地区代表となって、本県としては久しぶりに甲子園球場に駒を進め、8月17日九州の雄高鍋高校と対戦して、岡投手を中心に東北健児の意気を示し前半対等に試合を進めたが、後半僅かに力及ばず6-0で敗れ無念の涙をのんだ。しかし善戦健闘振りは、県民に強い感銘を与え本県スポーツ振興上よい刺激となった。

12 福島県体育協会運営の概要

会長に木村知事をいただき、陸上競技をはじめ31種目競技と、福島県高等学校体育連盟、福島県中学校体育連盟のスポーツ統轄団体として活動しており、過る東京オリンピック大会には、円谷幸吉、大内仁のメダリストをはじめ9名の日本代表選手を送り、又現在は来るメキシコオリンピック大会を目指して選手の発見

種 目	氏 名	出身校	遠征先	期 間	成 績
重量挙げ	木村 岳夫	磐 高	テヘラン	10月21日～11月15日	世界選手権ライト級5位
自転車競技	班目 秀雄	白 高	マニラ	11月28日～12月5日	世界選手権 1,000米優勝 4,000米団体優勝
〃	〃	〃	メキシコ	10月8日～10月22日	メキシコ国祭大会 1,000米 10位
〃	福原 広次	白 農	スペイン	8月25日～9月14日	世界選手権 100斤ロードレース 18位
ボクシング	太見 義寿	福 農	メキシコ	10月4日～10月21日	

15 選手の強化

と育成強化に鋭意努力しているがその運営の概要は下記のとおりである。

- (1) 主なる会議
定期及び臨時の理事会・評議員会・常任理事会
- (2) 各種委員会の開催
競技種目別ヘッドコーチ委員会
スポーツ強化推進委員会
実業団スポーツ関係者会
財務委員会
- (3) 東北大会・全国大会開催に伴う運営強化のための指導者講習会
- (4) 記録の向上を目指し有望選手の強化合宿の実施
- (5) 各種行事の開催
福島県総合体育大会(夏季、秋季、冬季)
実業スポーツ大会・その他

13 表彰について

- (1) 県内表彰
8月20日原町市ひばりヶ丘競技場における第18回福島県総合体育大会秋季大会開会式の折多年本県の体育・スポーツの普及と振興に尽力された。次の方々と団体にそれぞれ、体育功労章を贈り表彰いたしました。

表 彰 者

本田 栄	52才	会社員	会津若松市
安藤松男	63才	教 員	石川郡石川町
笹山 進	61才	教 員	福島市
広瀬忠義	53才	教 員	原 町 市
鈴木幹夫	54才	無 職	西白河郡表郷村
志賀 求	65才	会社員	原 町 市

表 彰 団 体

福島県ウエイトリフティング協会 代表者 志賀任

- (2) 全国表彰
昭和21年体育協会結成以来、21種目、21地区団体を有し、技術講習会、各競技会等を開催して、スポーツの普及と振興に努力している福島市体育協会は、岐阜市における、第20回国民体育大会秋季大会開会式場で、社会体育優良団体として、文部大臣より表彰を受けた。

14 本県出身選手の国外派遣について

昭和40年度中に本県出身で日本を代表して国外遠征した下記の選手に対し、知事より餞別を贈って激励した。なお何れも現在日本スポーツ界を代表する選手で、来るメキシコオリンピックでの活躍が期待されている。

昭和40年度努力目標の一つである選手強化のため、次の事業を実施した結果、国民体育大会や各種大会の